

かながわ環境カウンセラー協議会（KECA）

KECA ニュース No. 49

=2013年 7月=

【巻頭言】

2013年度、チェンジ！

理事長 木村信幸

この「チェンジ」には色々な意味が含まれています。新しく5名の理事が就任されたこと、支部長、委員長の交替があったこと、これらとは何のつながりもありませんがKECA事務所が同一フロア内で移転したことなどです。ことに7支部のうち5支部で支部長の交替、4委員会全ての委員長の交替があったことはKECAの歴史上かつてなかったことといえます。昨年度の理事会メンバーの総意に基づくものであり、組織をより活性化しようとする意識の表れと見ることもでき、新しい節目のスタート年度に相応しいチェンジではないでしょうか。

先般新しいメンバーを加えた今年度最初の理事会が開催されました。その理事会で、「KECAの活動方針」が最終的に全会一致で可決されました。かつてこの種の活動方針がなかったことからすると、これもチェンジの一つに数えることができます。

昨年度実施した「KECAの将来像を探る」と題するパネルディスカッション（総合研修会Ⅰ）及びそれに引き続く総合研修会Ⅱで討議された結論を基に立案されたものです。

【基本方針】2項目と【活動内容】4項目からなり、いわばKECAの中長期的（3～5年）目標としての位置づけとなります（別紙配布参照）。総会で議決された「2013年度活動計画書」は、これを（先取りし）踏まえたものといえるでしょう。

この理事会では、2013年度の運営方針として、内部コミュニケーションと外部コミュニケーションについても再度お願いしました。前者は情報の開示（支部、委員会、事務局）と管理（紙、電子データ）、後者は関係諸団体、行政等との関係強化です。情報発信ではホームページ、KECAニュースの活用が正にチェンジの象徴になればと期待しています。

先日ECU（NPO法人環境カウンセラー全国連合会）の2013年度通常総会が開催されましたが、2013年度事業計画書に「環境経営支援事業」が登場しました。具体的な事業内容の検討はこれからのようですが、事業者部門活動のチェンジの現れと受け取ることができます。やがてKECAの活動の参考になるかもしれません。同じく懇親会冒頭で、「環境教育等促進法と環境カウンセラー」と題し、先崎武顧問（KECA相模原支部）の“環境カウンセラーの法的取組による社会貢献時代（提案権、新団体の大臣指定）”について挨拶と解説がありました。環境カウンセラー及びKECAの今後の活動の参考にしたいと思います。

KECAの活動に流れる通奏低音は前記基本方針の第2項（自ら楽しみながら活動し、生き甲斐の持てる会の実現を図ること）であると考えております。かつて、ノーベル賞有機化学者の根岸英一さんは、幸福の4条件を①健康、②家庭、③プロフェッション、④ホビーであると紹介されていました。誰もが納得できる分かり易い条件ではないかと思えます。勝手ですが、これも先の通奏低音に加えては如何でしょうか、一層深みのある低音となって響きつづけるものと確信します。（2013.6.29）



総会後の懇親会で挨拶する
木村信幸理事長



第17回通常総会開催

- 日時：2013年5月18日（土）13:00～15:20
- 会場：波止場会館4階大会議室
- 出席者 47名・委任状 21名・書面表決 22名 > 64名（成立）

総会に先立ち10時から同会場において理事会、11時から新会員（有志会員を含む10数名が参加）を対象にKECAの活動紹介などオリエンテーションが行われました。

13時、本日の司会進行・河野事務局長から総会成立、開会宣言があり、議長に近藤勝養氏、書記に照沼俊夫氏、原洋夫氏、議事録署名人に斎藤雅彦氏、杉浦弘祐氏が選出され、木村理事長の開会の挨拶があつて、審議に入りました。

第3、4号議案に関して4件の質疑があり、関係理事から回答があつたが、4号議案で一部記載ミスが発覚したため、追って修正版を全員に配布することとし、第1～4号議案は満場一致で承認されました（第3、4号議案は書面表決で反対1名あり）。

第5号議案では役員改選が行われ、木村信幸理事長、高橋弘二副理事長、小林嘉博副理事長以下、18理事（略）、監事（嶋田和夫氏、大竹順之氏）が承認され、この体制でKECAの2013、2014年度の活動を執行していきます（ただし、嶋田監事は2013年度まで）。

近藤議長の進行で予定通り総会審議を終了し、その後、新会員（2012年度総会以降の入会）が前に出て自己紹介と抱負を述べ、会場の会員から大きな期待の拍手が寄せられました。（事務局）

【総会次第】

1. 総会成立宣言（13:00）
2. 開会宣言
3. 議長の選出
4. 書記2名の選出
5. 議事録署名人2名の選出
6. 開会の辞
7. 議案審議
 - 第1号議案 2012年度活動報告書
 - 第2号議案 2012年度活動計算書及び監査報告
 - 第3号議案 2013年度活動計画書
 - 第4号議案 2013年度活動予算書
 - 第5号議案 役員改選
8. その他（報告事項、新入会員紹介等）
9. 閉会の辞（15:20）

【特別講演】

大気環境保全に対する取組み～微小粒子状物質（PM2.5）を中心に～

環境省水・大気環境局大気環境課 課長 大森 豊緑 氏

木村理事長から講師の紹介があり、今春話題になったPM2.5を中心に環境省が取り組んでいる大気環境行政について環境省の大森課長から講演していただきました。

まず、わが国の大気汚染防止の法体系について、次に大気環境行政の主な取組みと現況〔・二酸化硫黄・二酸化窒素・浮遊粒子状物質・光化学オキシダント（東アジアなどからの越境汚染の影響）・揮発性有機化合物対策〕についての説明がありました。次に本題の「微小粒子状物質（PM2.5）対策の取組み」について、・PM2.5とは？・成分は？・健康影響？・発生源？・観測体制・PM2.5濃度の現状・環境基準（日平均値 $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下）・注意喚起のための暫定的な指針など、パワーポイントを使って詳しく説明していただきました。わが国の大気環境はおおむね良好であるが、「光化学オキシダントと微小粒子状物質等」が環境基準達成率が低く発生源・発生機構の解明と越境大気汚染の取組みの重要性が課題であるとのことでした。（高）



通常総会の会場風景



大森課長の講演



講演後に行われた懇親会

「かながわ環境カウンセラー協議会（KECA）設立15周年記念誌」の発行を終えて

記念誌編集委員長 杉浦弘祐

編集委員10名の会員と編集した「KECA設立15周年記念誌」を2013年3月15日に発行することができました。環境カウンセラーの集まりであるKECAの設立15周年に際し、将来どのようなビジョンを持って活動していくかを探ることが目的であります。

KECA設立の歴史は、1996年の「環境カウンセラー登録制度（EC制度）の創設」から始まり、1998年の「KECA発足」、1999年の「NPO法人の認証登録取得」2001年の「環境カウンセラー全国連合会（ECU）設立」に至る歴史であります。この間KECAの先輩達の努力により環境カウンセラー制度が定着化したことは間違いありません。様々な対立を乗り越えてこられた先輩達のエネルギーには感服せざるを得ません。

その後2006年のワールドポーターズへの事務所開設を経て現在に至っておりますが、現在は、木村理事長の「設立15周年を迎えて」に記述されているように、環境経営の推進、環境教育の推進、行政・関係団体との協働、会員の増強、生きがいの持てる協議会を目指して活動を進めております。各委員会・支部の活動状況は「委員会活動」「支部活動」「事務局活動」に詳細に記述されております。

先輩達の活動を振り返り、現状を認識し問題点を掘り下げ、KECAの将来像を探ろうと、パネルディスカッション「設立15周年を迎えKECAの将来像を探る」を企画いたしました。時間が足りず中・長期の将来像を探るまでは踏み込めませんでした。KECAの現状の問題点を解析することができたことは意義ある結果であったと思います。

KECAは120名強の会員を有し、環境カウンセラー協議会としては大きな団体に成長いたしました。これからは、先輩たちのビジョンを引き継ぎ大きく羽ばたいていきたいものです。私の描く将来像は、経営マネジメントシステムの導入、EA21の認証取得、EA21の更なる啓発・普及活動促進のための地域事務局の設立などであります。皆さんの将来像はなんでしょうか。本年度は理事・委員長・支部長に新しい顔が増えました。新しいKECAを作ってください。新しいエネルギーに大いに期待しております。（以上）

【報告1】

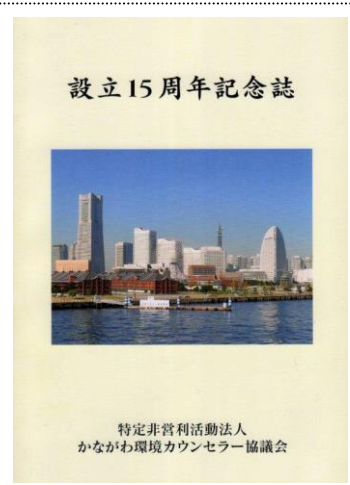
第19回 市民環境活動報告会

環境教育委員会 岡本正義

「温故創新」をキャッチフレーズに3月2日（土）12時45分から、かながわ県民センター・ホールで開催した。神奈川工科大学・高村教授の「大学と地域の環境活動との連携」の基調講演の後、4件の口頭発表と、自然環境保全、行政と協働、3R、災害の4テーマのテーブルセッションを実施した。参加者：68名

- ・KECAからは、「学校給食の牛乳びんリユース」（吉野榮一）をテーマに1件口頭発表をした。
- ・報告会の発表募集を県の支援も受け、幅広く、余裕を持って実施したので、実行委員を構成する3団体以外の市民団体から積極的な発表等の参加があった。

・他方、口頭発表とテーブルセッションの発表については、発表者との調整がつかず急遽、発表取り消しなどの不具合もあった。KECAの口頭発表においても原稿の締め切りに間に合わなかったこと、発表者が直前で交代するなど、次回への課題が浮かび上がった。



報告会会場風景

KECA 環境教育委員会からは4名の実行委員（上野秀一副実行委員長、岡本正義、川村卓正、吉野榮一）を出し企画・運営にあたったほか、多くの会員が報告会に参加し、質疑応答、情報提供等で会を盛り上げた。最後に、KECA 木村信幸理事長が閉会の挨拶をされて成功裡に終了した。

【口頭発表】

「ヨコハマ3R夢活動を学校給食の牛乳びんリユース実施で具現化しよう」

発表者 吉野榮一（横浜支部）

横浜市ではG30プラン（ごみ減量：30%）を達成し、現在は「ヨコハマ3R夢（スリム）」活動を展開し、3Rでさらなるごみ減量と脱温暖化に取り組んでいる。そのなかで、3Rによるごみ減量と脱温暖化に取り組み、子どもたちが将来に「夢」を持つことができるまち・横浜の実現を目指すとなっている。

その一方で、子どもたちが3Rを学習する機会において、とくに「リユース」に関する具体的な事例は少なく、中古車、古本、リサイクルショップ（家電、家具など）を説明することになっている。そこでKECAでは、「学校給食に牛乳びん」を採用することによって、子どもたちがリユースを社会システムのひとつとして自らが体験することを提案している。

牛乳びんはリユース以外にも、従来の牛乳びんより約50%軽量化（リデュース）していること、古くなったガラスびんはカレットとして原料（リサイクル）として使用していることなど、『3Rの優等生』である。

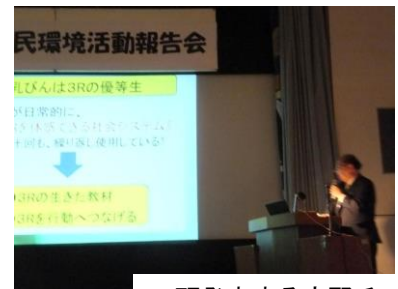
子どもたちが3Rを身近に体験するよい教材として、学校給食に牛乳びんの採用を行政に働きかけている。

学校給食への牛乳びんの採用比率は地域で大きな差があり、神奈川県はわずか0.7%（全国平均26%）である（右上の図）。今後、牛乳びんの特性をさらに調査し、学校給食における牛乳びんの普及に努めるとともに、3Rに関する教育を実践して、低（脱）炭素社会を目指していく。

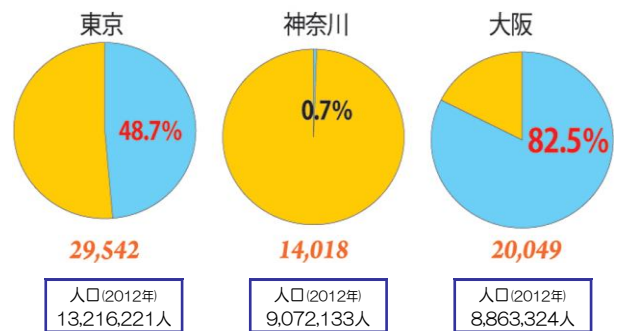
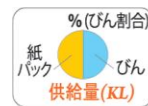
【テーブルセッション】

口頭発表終了後、小休憩時間にテーブル、机を並べ直し、次の4つのテーマに分かれて情報提供・活発な意見交換が行われました。参加者からは、もっと時間が欲しいとの意見が出るほどでした。

- ・テーマ1「自然環境保全」
（情報提供）湘南海岸の海浜植物の保全と活用の報告
- ・テーマ2「行政と協働」
市民協働での環境保全活動が活発に行われているが、対等での議論、コミュニケーションの大切さが重要である。
- ・テーマ3「3R」：コーディネーター岡本正義（KECA）
（情報提供）プランターを使った
生ゴミ堆肥化システム紹介
- ・テーマ4「災害」：コーディネーター川村卓正（KECA）
（情報提供）2年経った東日本大震災の現状について



口頭発表する吉野氏



テーブルセッションの様子



【報告2】

市民活動フェア2013の報告

事務局 河野 健三

1. 概要

今年も3月9日（土）、10日（日）に県民センターで開催された「市民活動フェア」に参加した。「市民活動フェア」の趣旨は、このセンターを活動場所として利用しているNPO法人、ボランティア団体をはじめ、多くの市民活動団体、グループなどが、この催しをきっかけに一堂に集い、出会いや交流を通して、更なる活動の発展を促進していくことにあり、KECAは1998年3月の第1回目から参加しており、今年で16回目である。

2. KECAの対応

- 開催日時：3月9日（土）、10日（日）、10時～16時（準備：8日18時～20時）
- 出展場所：10階の交流広場
- 展示内容の概要

支部	展示内容等	体験コーナー	説明者
湘南	①沖縄のちゅら海とサンゴ礁の生き物たち	・サンゴを実際に持って重さ確かめ、ルーペで表面を見る、ホラ貝を耳にあてて謎の音を聞く等 ・節電家族の模型	嶋田和夫
	②ちがさき環境フェア・ふじさわ環境フェアの展示物	・おもしろ・わくわく 折り紙・工作体験～変り絵、六角返しをつくる～	小山稔
県央	・電気コソコソ作戦	・停電と節電	高橋信
横浜	・牛乳びんのリユース活動と事業継続計画解説のパネル	・原料のデリュースをした軽量びん（牛乳びん）	杉浦勲

3. 会場の様子

前日8日（金）の夕がた、事務局担当を中心に10名の会員により展示会場の設営、展示を行った。9、10日、KECAブースを訪れた来場者は一般市民は少なく、ほとんどがフェア出展者や関係者であり、KECA会員は20数名（2日間で）が顔を見せてくれた。

ブース来場者は、まわりに展示したパネル、ポスターを読む人はほとんどいなかったが、訪れた親子や女性同士らが中央の体験コーナーで説明者の解説・指導でいろいろな体験をして楽しんでいった。



来場者にサンゴの説明

【報告3】

福島復興再生事業《相双～苦難を超え“環境・生活”への創造》

事業1 『にじをつなぐ～友・有・悠』へのKECA出展参加報告

1. 日 時：2013年4月21日（日）10:00～16:00
2. 場 所：道の駅 南相馬（南相馬市原町区高見町2-30-1）テントコーナー
3. 主 催：相双地方地域再生創造プロジェクト実行委員会（実行委員長：長澤利枝氏）
4. 共 催：道の駅南相馬、NPO法人福島環境カウンセラー協会、風人茨城環境カウンセリング協会
5. 後 援：南相馬市、南相馬市教育委員会、NPO法人環境カウンセラー全国連合会、NPO法人かながわ環境カウンセラー協議会他16団体

6. KECA 参加者：木村信幸理事長、河野健三事務局長、
 (体験学習指導・解説) 嶋田和夫、小山稔、大野昌美、(以上 5名)

7. KECA の出し物 ① KECA 活動紹介パネル、
 ② ちゅうらうみのサンゴ礁の生き物 (嶋田)
 ③ 六角返しと変り絵カード折り紙 (小山)
 ④ ヘロンの噴水、ペンハムこま、リングパズル (大野)

【概要】

- 20日(土) 午前中に東京を出発。東北新幹線、バスを乗り継ぎ、午後1時過ぎに南相馬市のホテル到着。会場確認を兼ねて会場の周辺をタクシーで視察した。海岸地区は震災、津波の影響が生々しく、2年経っても津波や原発事故の影響から抜け切れず、未だ瓦礫が山積している状態であった。
- 夜は同じホテルに宿泊した福島環境カウンセラー協会の会員3名と中華料理店で夕食をとったが、現役時代の仕事や環境カウンセラーになった経緯、縄文文化の話など各人の関心事や趣味の話などで大変楽しい交流の場となった。
- 開催日の21日(日)は、異常寒波で前夜からの雨が52年ぶりの降雪になるという悪天候であったが、法螺貝の吹奏で始まり、屋内ホールでは太鼓、尺八、琴の演奏、相馬盆踊り、相馬流れ山踊りなど地方色豊かな催し物、風人茨城環境カウンセリング協会の方が復興を祈念して作られた曲の披露発表や関西からの復興支援メッセージの展示などが行われた。屋外テントではKECAブースのほかに地元農業高校の野菜や植木苗の販売と園芸教室、東京杉並の市民団体「カウンセリングスペース“さくら”」の無料喫茶サービスなどが行われ、温かい飲み物とお菓子が提供された。
- KECAブースは屋外テントであったため、寒さに耐えながらの支援活動となったが、多くの参加者が訪れ、準備した景品がなくなるほど盛況であった。変り絵カードや六角返しの折り紙工作は、寒さで手がかじかんでしまうため、屋内に場所を移して行った。
 親子連れやお年寄りの方に大変好評で、うまく折れると作品を大変嬉しそうに持ち帰られた。
 昼食時に現地ボランティアが古代米のおむすび、弁慶煮、漬物やうどん等の郷土料理を提供していたが、いずれも美味しく大好評であった。
- 今回の参加団体は、長澤実行委員長の呼びかけで、「にじをつなぐ～友・有・遙～」事業の支援のために集まった人たちである。「楽しくやりましょう！」という実行委員長の呼びかけのとおり、笑顔が絶えず、最後に参加者全員がハイタッチと拍手で「ありがとう！」の言葉を交わすことができた素晴らしい復興交流イベントであった。
- KECAと長澤実行委員長との付き合いは、ECUの総会で長澤さんが東日本大震災の現地の実情を見て欲しいと話をされ、木村理事長の提案により、震災半年後の8月にKECAのメンバー12名が現地を視察したことがきっかけでした。今回KECAが災害復興再生事業に支援参加したことにより、KECAと福島環境カウンセラー協会の交流・連携が一層強まることを期待したい。(記：小山稔/大野昌美)



被災地(小高地区)を背景に



サンゴの説明



六角返し工作

委員会活動

[各委員会の開催日]

委員会名	委員長(会長)	開催日	開催場所
環境管理委員会	小林嘉博	9、12、3月第3水曜日 18:00～	横浜市市民活動支援センター(桜木町)
環境教育委員会	岡本正義	毎月第4月曜日 18:30～	フクシア会議室(横浜市中区)
化学物質委員会	石井員良	奇数月第2木曜日 18:30～	かながわ県民サポートセンター9階
環境経営委員会	近藤勝養	奇数月第3土曜日午後	KECA 事務所
エネルギー研究会	加藤幸男	未定(会長招集)	未定

EA21EA21EA21 環境管理委員会 EA21EA21EA21

環境管理委員会 委員長 小林嘉博

昨年の政権交代以降の経済政策“アベノミクス”の効果が顕著に現れて、長くデフレ状態で停滞していた経済に活気が見られるようになってきました。この経済状況の変化がエコアクション21(EA21)に好結果を与えてコンサル契約の改善として現れてくるまでには、かなりの日数(あるいは年数)が必要とされるかも知れません。

しかし、環境管理委員会の活動としては来るべき日に備えて、組織としては体制の、個人としては力量の維持・向上を倦まず弛まず心がけなければならないと思います。

本年度の委員会活動の主な項目(眼目)を以下に述べて確認したいと思います。新鮮味に乏しいかも知れませんが地道に愚直に前進を志す委員各位の応援を心掛けたいと考えています。

1. 情報の共有(文書管理担当)

環境保全全般は勿論、EA21の顧客獲得・コンサルティングに関する情報の共有化を進めたいと思います。共有化すべき情報の種類の特定、共有化の手段としてふさわしい手段や手順を組織として研究し、可能なものは実施に移して行きたいと思います。

○委員会議事録→公開の対象者：委員会開催案内に返信のある委員、各支部長、事務局長

○顧客相談会(中央会セミナー)記録→KECA事務所内PC保管(閲覧可)

2. EA21のコンサルティング(コンサル割当担当)

EA21のコンサル案件の受注件数が多くない状況において、多数のコンサル担当希望者の要望との折り合いをバランスよく、可能な限り不満の解消(抑制)を図って行きたいと考えています。コンサル割当担当の割当に関する改善策の検討・答申を受けて、委員会の総意による納得できる内容の採用まで漕ぎ着けたいと思います。

○コンサル希望者でコンサル割当実績のない委員に対する優遇割当措置の可否がポイント

3. 委員会の運営

委員会における課題の抽出及びその執行は、常時委員会への出席を積極的に実行されている委員を基本としたいと考えています。

さらに、委員会内に設ける役割別のグループを設けて会員の自発的な参加の申し出を受けて、それぞれのグループの活動の母体としたい。

*環境管理委員会への出席の実績が(最)重要⇒無断欠席2連続以上は次年度から活動休止と判断した。

活動の再開は本人の自由意思によるものであって、何ら妨げられるものではないものとする。



環境教育委員会

環境教育委員会 委員長 岡本 正義

1. 対外活動報告

KECAニュース No.48 以降の対外活動：

- (1) 環境教育インストラクター養成セミナー：1月26日（土）、27日（日）に横浜シルクセンターで開催した。参加者 34名
- (2) 第19回市民環境活動報告会：温故創新をキャッチフレーズに3月2日、かながわ県民センターで開催、参加者68名。なお、環境教育委員会から上野（副実行委員長）、岡本、川村、吉野が報告会の実行委員として企画・運営（司会進行、テーブルセッションのコーディネーター）にあたった（詳細前記）。

2. お知らせ

- (1) ①神奈川県環境・エネルギー学校派遣事業並びに②横浜市出前授業講座に講師登録を行った。
①に対して、「身の回りの3R－循環型社会形成のために－（リーダー 吉野）」のテーマの出前授業の依頼が厚木市立小学校からあったので、実施に向けて近日中に打合せを行う予定。
- (2) 環境カウンセラー養成支援講座を横須賀三浦支部が7月28日（日）、湘南国際村で開催予定。
- (3) 環境教育インストラクター養成セミナー受講者を対象にしたフォローアップセミナーを、今秋開催の予定で計画中。

3. 市民環境活動報告会

[会員のみなさんへ]

第20回市民環境活動報告会を来年3月1日（土）に開催予定です。
口頭発表を積極的に応募するよう準備して下さい。

[第19回市民環境活動報告会を担当して]

- (1) KECAから1件の口頭発表を行ったが、原稿の締め切りに間に合わなかったこと、発表者が直前で交代するなどは、次回への課題
- (2) 報告会にはKECA理事長をはじめ多くの会員が参加し、口頭発表での質疑応答、テーブルセッションでの情報提供、発言などで報告会を盛り上げていただき、懇親会にも参加してもらい有難かった。
- (3) 会員の報告会に対する関心が低い。発表したい意欲のある人（活動している人）が少ないのでは。一般会員の市民環境活動の活発化。



司会進行を務める



会場から活発な質問も



化学物質委員会

委員長 石井員良／副委員長 中山育美

近藤委員長の後を受け、委員長に就任しました石井員良です。不慣れなため、会員の皆様には、色々ご迷惑をお掛けすることになるかもしれませんがご協力のほどよろしくお願いします。

化学物質委員会の2013年度の活動方針は、(1)地域の環境リスクを減らすために、化学物質委員会のリソースを活用して、市民・事業者向けに化学物質のリスクに対応するのに役立つ情報発信を行う。(2)また主として事業者を対象とした新しい活動プログラムを企画し、事業化を検討することです。

具体的には、まず、KECAのHPを活用して、以下の情報発信を行うことにします。

- ①化学物質関連情報を発信する。(会員交替で、400字程度)
- ②最近のマスコミ等で話題となった化学物質関連トピックスの解説を発信する。
- ③EA21 審査員に役立つと思われるP R T R、毒劇物、危険物の解説を発信する（具体的内容等は検討中）。

環境経営委員会

環境経営委員会 委員長 近藤 勝養

[主要活動]

会員の力を結集して、中小企業の環境経営（環境管理委員会の担当するE A21を除く）を支援する。

(1) 中小企業のBCP（事業継続計画）構築支援

2012年度には、神奈川県にも大きな影響が予想される大地震等を想定したBCP構築支援のための体制及びカリキュラムがほぼ完成したので、2013年度は構築支援（コンサルティング）の顧客確保に向けて注力する。目標5社に対して、既に3社の支援が具体化しているので、この支援活動を通じて支援先の満足度の向上を達成するとともに、支援コンテンツ及び会員の力量の更なる向上を図る。

(2) エコ検定受験準備講習会の開催

2012年度は2回の講習会を実施し、多くの合格者を実現するとともに、講習会開催の要領や使用教材の作製はほぼ完成した。2013年度は、すでに1回の講習会を開催し、約30名の受講者があった。

エコ検定は今後も年2回（7月及び12月）実施されるので、講習会も年2回継続して開催する。

(3) 中小企業のコストダウン支援

コストダウンは最大の環境活動であるとの考えから、不良やムダ削減、5S等の経営支援の在り方も検討する。

支部活動



[支部会議（集会）の開催日]

支部名	支部長	開催日	開催場所
横浜	山田 徹郎	毎月第4木曜日 18:30～	横浜市市民活動支援センター（桜木町）
川崎	坂崎 洋雄	隔月（偶数月）、18:00～	中原市民館
横須賀三浦	武藤 勝弘	6、9、12月第4木曜日 18:30～	横須賀市市民活動サポートセンター
湘南	西村 堅一郎	毎月最終週金曜日 18:30～	藤沢市市民活動推進センター
県央	守谷 喜芳	隔月第3日曜日 17:00～	海老名市市民活動センター
相模原	武内 健三	各月（奇数月）第2土曜日 10:00～	相模原市立環境情報センター
西湘	小林 嘉博	隔月開催（会議で開催日決定）18:00	平塚市民活動センター会議室

KECA横浜支部 舞岡公園の自然観察会

昨秋に計画していた「舞岡ふるさと村・舞岡公園」自然観察会が雨天のため中止となり、2月16日（土）に開催いたしました。横浜市のふるさと村の一つであり、舞岡公園は27haの広域公園で、両者を合わせた地区は「横浜市の緑の七大拠点」の一つでもあります。

当日は快晴でしたが冷たい北風が強く吹き、写真のように15名の参加者は防寒着を用意して、寒さをしのぎました。自然観察指導員の安江京子さんに案内をお願いして、里山の構成、樹木管理、草木の芽吹きの様子、野鳥などを3時間かけて歩きながら観察しました。ところどころにクイズを交えた説明は分かりやすく、この時期の自然についての理解も深まりました。

写真は、最終地点の「古民家：小谷戸の里」で撮影したものです。終了後、戸塚駅近くの居酒屋で、反省会を行いました。参加者のアンケート結果では、場所、時間帯、説明者は高評価でしたが、開催時期は意見が分かれました。（寒さが応えたか？）



古民家前で参加者の記念撮影

＜文責：大竹順之＞

湘南支部 茅ヶ崎・藤沢環境フェアに参加

支部長 西村 堅一郎

●ちがさき環境フェア

6月22日(土)、茅ヶ崎市市役所分庁舎他において、2013年度ちがさき環境フェアが開催されました。KECA 湘南支部では分庁舎6階コミュニティホールにおいて、パネル展示、体験学習を行いました。

①市民活動団体展示コーナー：KECAの環境活動、EA21活動のパネル展示、「節電家族」の学習

②エコ体験コーナー：キッチン実験室、旬ちゃんゲーム、六角返しの子どもたちの体験学習。

いずれも多くのお客(子供たち)が遊んでくれた。残念ながらKECAのリーフレットはあまり減りませんでした。本年のちがさき環境フェアの特徴は、円蔵中学校・赤羽中学校による「スクールエコアクション発表会」です。生徒会が主導して節電、清掃、ごみの分別、緑のカーテン、キャップ収集などの活動に取り組んだ報告が行われました。茅ヶ崎市内全小学校・中学校がスクールエコアクションに取り組んでいます。

なお、スクールエコアクションとは、学校生活での環境活動について目標を立てて実行し、振り返りをして次につなげていくシステムです。

●ふじさわ環境フェア(予定)

11月23日(土曜日・祝日)、藤沢市辻堂の明治市民センター・公民館・土打公園において開催予定

横須賀三浦支部の活動

1. 小学校の環境教育

「横須賀市環境教育指導者派遣事業」の登録資格の一つが環境カウンセラーであることから、支部会員3名(中村、遠田、高橋)が登録し、依頼のある小学校で「水の循環」「身近な川」などの話、「水の汚れ調べ(パックテスト)」実習の出前授業を行っています。また、川の源流に案内し、水質・水生生物調査、源流探検など体験学習を横須賀「水と環境」研究会の協力で楽しく実施しています。



2. 環境カウンセラー養成支援講座

「湘南国際村めぐりの森」で森づくり・利活用を行っている自然ふれあい楽校のサマースクールのイベントの一つとして、(主として)三浦半島で環境活動を中心になって実践している人に呼びかけ『環境カウンセラー養成支援講座(市民部門)』を開催します。既に事業者部門に登録していて市民活動に取り組んでいる環境カウンセラーにも、参加を呼び掛けています。

□ 開催日時：7月28日(日)10:10~14:30、 □ 募集人数：10名(程度)

□ 会場：湘南国際村センター206号室 □ 交通：JR 逗子駅または京急汐入駅からバス25分(高橋)

県央支部の活動予定

支部長 守谷喜芳

1. 海老名市サマースクールの実施

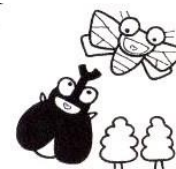
□ テーマ：「電気コソコソ作戦」

□ 実施日：7月23日(上星小学校)、25日(有鹿小学校)、26日(東柏ヶ谷小学校)の3日間

2. 綾瀬市環境展

□ 開催日：8月24日(土) □ 会場：綾瀬市役所 1階市民ホール

□ 内容：KECA・県央支部の環境保全活動、環境教育





相模原支部

相模原支部 支部長 武内健三

このたび相模原支部長になりました武内です。KECA入会時、相模原支部は定例会議を開催していなかったため、約1年半の間、横浜支部に所属して毎月定例会議に参加し、市民活動、事業者活動など諸先輩の指導のもと、良い経験をさせていただきました。

今年度から相模原支部に所属し支部長を仰せつかり、隔月に定例会議を相模原市立環境情報センター活動室で実施する予定で、環境の日の6月5日に定例会議を開催しました。次回の7月6日(土)の定例会議では、活動している支部会員のほぼ全員が参加される予定になっています。

1. 自然観察会

6月23日(日)に「城山地区の里山・ホタルの里を訪ねて」を計画しています。相模原市は、政令指定都市になり、緑区には丹沢の燧ヶ岳、相模湖、宮ヶ瀬湖など自然豊かな地域があり、会員参加の自然観察会を今後も計画しています。

2. EA21普及活動

相模原市と相模原商工会議所に働きかけて、セミナーおよび自治体イニシアティブプログラムの再開などをお願いする予定です。さらに、市環境情報センターおよび4月より発足した「さがみはら地球温暖化対策協議会」の活動に協力していく予定です。(2013.6.23)

〇〇〇☆☆☆☆〇〇〇☆☆☆☆〇〇〇☆☆☆☆〇〇〇☆☆☆☆〇〇〇☆☆☆☆〇〇〇☆☆☆☆〇〇〇

会員のページ

三浦半島だより (1)

～横須賀「水と環境」研究会の活動を中心にして～

三方海に囲まれた三浦半島は首都圏からも近く、気候温暖、背稜部には貴重な自然も残っていることから、自然環境の保全と利活用を目的にたくさんの市民環境団体が独自に、また協働で活発に活動しています。私が代表を務める横須賀「水と環境」研究会は楽しく三浦半島の河川を歩き、水環境調査・観察を始めて今年が25年目になります。調査結果は市民や行政へ広報・周知し環境保全の啓発を行うとともに、小中学生の環境教育・体験活動を行っています。横須賀「水と環境」研究会では独自の活動のほか、他団体・行政と協働で地元に着いたいろいろな環境活動を行っています。

【KECA 横三支部活動者：中村修二郎、遠田和雄、高橋弘二 (記)】



1. 湘南国際村めぐりの森植樹祭
5月6日(祝)午前、一般県民、環境団体、企業など約700名が参加し、宮脇昭横浜国大名誉教授の指導のもとに3000本の植樹を行いました。
【高橋：めぐりの森推進会議会長】



2. 里山的環境・長坂田んぼ復元
5月25日(土)里山びらき：午前のシンポジウムには吉田横須賀市長も参加され、午後からは一般市民約100名が参加し、長坂復元田んぼを中心に体験学習を行いました。(中村、高橋)



3. 市立小学校の出前授業
横須賀市環境教育指導者派遣事業
6月10日(月)午前、市立小学校3年生3クラス(45分×3)、野外で学校ピクトープについて授業を行いました。
環境教育指導者：高橋、中村、遠田



****川崎から里山便り (3)****

川崎支部 照沼 俊夫

2010年10月に名古屋で開かれた COP10 以降、環境省は失われつつある自然環境を維持し、自然と共生する取り組みの研究を『SATOYAMA イニシアチブ』と称して、国連大学高等研究所と共に国際的に進めている。世界中の82の事例について研究が始まった。

生物多様性と言っても特定の場所がある訳ではなく、82はそのサンプルに過ぎず、身の回りの自然環境がどうなっているかを、どう変わりつつあるかを知ることの方が、より重要なことだと私は思っている。

生態系は地域固有のものであり、地域の生物多様性の維持保全こそが重要なのだ。そこで川崎支部は環境に関心をもつ手段として『環境ウォッチング』と称して、『生物暦』の作成を始めた。鳥や昆虫がその年の初めて鳴いた日や、初めて姿を見た日や、初めて開花した日の記録だ。

私は、里山の維持保全＝生物多様性の維持保全活動をしているが、初めて14年になる。対象は、里山の姿をそのまま残した、面積3万6千㎡の公園である。毎月2回、3時間山仕事をしている。下草を刈り、枝打ちをし、伐採し、植樹をする。真夏は熱中症に注意しながらの作業になるが、連続40分しかもたない。それでも自然が我々の行為に対しどんな褒美を呉れるか、楽しみで続けている。

始めた契機は鳥の鳴き出しが年々遅くなり、14年前遂に、鳴き出しが朝8時になったことであつたが、昨年は朝4時半に鳥の声で起こされた。今年は4時に鳥の声で起きている。山が手入れされて、鳥が10年かけて増えてきたのだ。また今年も、山吹の群落が、二人静の群落が現れた。昨年は、金水引草の群落が現れた。一昨年は、ヒヨドリ草が現れた。一昨々年は、冬のハナワラビが現れた。このように年々昔からそこに生育していた草花や木が再生して来る。これは、鳥も花も木も我々の作業を歓迎してくれているということであり、これに勝る褒美は無い。我々が生物多様性の為になすべき一つ目は、観ているだけではなく、林床に光を入れ、下草を刈り等の具体的な行為により絶滅から救済することである。

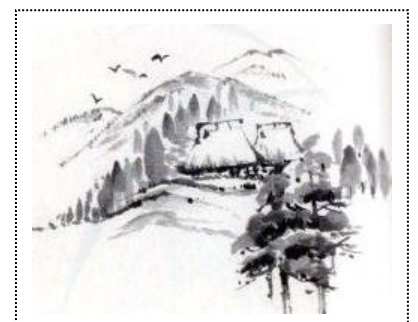
今や、地球温暖化や野生種の過剰保護や外来種の持ち込みと飼育放棄によって、生態系の醸乱が起り、生物多様性が危機に瀕している。生物多様性の維持保全とは、生物なら何でも良いと言うことではなく、その地域の生態系の篩に掛けられて生き延びて来た在来の動植物を維持保全することなのだ。それをわき違えている節がある。単純に『命あるものは全て大切だ』と……。いま神奈川県では画眉鳥が異常繁殖している。給餌の時に逃げたか、鳴き声騒音で飼育放棄されたかで、神奈川県では2000年頃から繁殖が始まった。画眉鳥は、同じく中国から持ち込まれた相思鳥と共に、侵略的外来種に指定されている。なぜ侵略的外来種かと言うと、これらは目白、鶯、四十雀、柄長等と樹林における生活圏が競合しているのだ。

さて、相思鳥、画眉鳥などの侵略的外来種（指定100種）だが、「**特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律**」によって、飼養、栽培、保管、運搬、輸入等について規制し、国もしくは自治体、または環境大臣の認定を受けたNPOなどの団体は防除して良いことになっている。鳥獣保護法の規定は適用されない。この外来種との戦いが、我々がなすべき二つ目の課題がある。

また、一般市民として出来る三つ目の課題は、

- 『野生生物の過剰保護をさせない。＝餌付けによる中途半端な家畜化をしない。』
- 『外来種を持ち込ませない。＝綺麗。美しい。楽しい。だけでは、生物多様性の維持保全は出来ない。』
- 『外来種の飼育放棄をさせない。＝飼育できなくなったら野に放たない。自らの責任で命を取る。』
- 『在来種の生存を脅かす外来種は……を考えさせる。＝生き物の命を大切には良いことだが……。』

である。これ位の事なら誰にでも出来る筈なのだ。お題目としての生物多様性では全く意味がない。



会員動向

事務局（会員担当）：水野房夫

2013年4月末時点の会員総数は127名で、会員構成は下表に示すとおりです。

2013.1.1～2013.4.30の間で新規に6名の方が入会されました。一方、今回の退会者はありません。新しい仲間が加わり今年度も会員のモチベーションをさらに上げていきたいと思えます。

（公益財）日本環境協会の発表によれば、神奈川県内の環境カウンセラー登録者は396名（本年4月現在）います。そのうちKECAに入会されているのは約1/3（下表の127名）となっています。

H24 年度新規の環境カウンセラー登録者は、県内は1名（新登録者は全部で52名）です。環境保全活動をやってみたいという方や興味がある方など、もっと多くの方々に入会して頂けるよう KECA として講習会や研修会、自然観察会を開催するなどして会員数を増やしていきたいと考えています。会員の皆様のご協力をお願いします。

登録部門	事業者部門	市民部門	両部門	合計	登録希望会員	総会員数
会員数(名)	89	18	7	114	13	127

新入会員の紹介

1. 草間 昇（くさま のぼる）

- ・所属：西湘支部（二宮町）
- ・部門：事業者部門
- ・専門分野：EMS(環境法規制、化学物質管理、ISO14001)、QMS(ISO9001、ISO/TS16949)

【抱負】今、自然環境活動に興味津々です。これまでの仕事は、環境と品質のISO事務局を担当しており、今後もこれまでの専門分野で汗を掻いて過すことになるでしょう。まずは、環境教育インストラクターと環境カウンセラーを目指して、KECAで活動できればと思います。宜しくお願いいたします。

2. 長安敏夫（ながやす としお）

- ・所属：横浜支部（横浜市保土ヶ谷区）
- ・部門：（環境カウンセラーの資格なし）
- ・専門分野：環境マネジメント、
化学工業プロセス管理

【抱負】環境管理委員会の皆様と協力して、エコアクション21普及活動に貢献できることを目指します。

3. 田中眞次（たなか まさつぐ）

- ・所属：横浜支部（横浜市栄区）
- ・部門：市民部門
- ・専門分野：自然観察、クラフト、環境教育
森林保全、森林セラピー

【抱負】現在、森林インストラクターとして神奈川県内、森林セラピストとして山北町の森林セラピー基地で活動しております。「子どもから大人までの自然環境教育」をモットーにして頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

4. 石井 修平（いしい しゅうへい）

- ・所属：相模原支部（相模原市緑区）
- ・部門：事業者部門登録（予定）
- ・専門分野：環境政策、国際環境法
環境工学

【抱負】私は環境関連の仕事を10年以上経験し、また、大学院博士課程において環境法および環境政策分野について専攻しております。本年、環境カウンセラー登録を申請する予定で臨んでおります。どうぞよろしくお願い致します。

5. 片野 真琴（かたの まこと）

- ・所属：横浜支部（横浜市戸塚区）
- ・部門：環境カウンセラー（登録希望）
- ・専門分野：環境教育 動物（生態系）

【抱負】まずは、環境カウンセラーの資格を取れるように頑張ります。若い会員、女性会員を増やしていきたい、活動もなるべく積極的に取り組んでいきたいと思っています。皆様にはお世話になるとと思いますが、よろしくお願い致します。

6. 中村 修二郎（なかむら しゅうじろう）

- ・所属：横須賀三浦支部（横須賀市森崎）
- ・部門：市民部門
- ・専門分野：水質・水生生物調査、水処理

【抱負】これからも三浦半島の河川水質・水生生物調査、市民協働の湘南国際村めぐりの森づくり・利活用、長坂・里山づくり、子どもたちの環境教育を楽しく続けていきます。

事務局便り

事務局長 河野健三

【事務局の取組みについて】

この度の通常総会で KECA の活動方針（基本方針）が示されました。それは ①「環境に配慮する市民と事業者を増やし、地域社会に貢献する」
②「自ら楽しみながら活動し、生きがいの持てる会の実現を図る」です。
総合研修会 I として昨年 10 月に開催されたパネルディスカッション「設立 15 周年を迎え KECA の将来像を探る」以降、検討を進めてきて示されたものです（パネルディスカッションの内容については設立 15 周年記念誌に掲載されています）。各支部、各委員会、事務局は、この活動方針に基づき様々な活動をしていく訳ですが、ここでは事務局の取組みについて述べたいと思います。

(1) 情報の発信・集積基地の役割を担う事務所を目指していきます。

事務局としては、まず「事務所からのお知らせ」（仮称）を開設します。支部・委員会間のコミュニケーションアップが図られるように、各支部・各委員会の活動状況を会員の皆様へ定期的にメールでお知らせするようにします。今年度は新たに 6 名の理事の方々が誕生しましたが、その中には事務局担当として 3 名の方も含まれています。新しい役員のご意見を聞き、事務局内の連携を強化して情報の発信・集積基地としての役割を担えるような事務所を目指して参ります。

(2) KECA 全体のイベントを魅力あるものにしていきます。

KECA 全体のイベントとしては総合研修会 I 及び II、事務所がある横浜ワールドポーターズで開催されるバリアフリーフェア、県民センターで行われる市民活動フェアがあります。

会員向けの総合研修会 I は 10 月 13 日（日）に KECA の主要課題を検討する 1 日研修を予定しています。また総合研修会 II は 11 月 30 日（土）、12 月 1 日（日）で懇親も含めた宿泊研修を行います（行き先：検討中）。奮って参加頂きますよう宜しくお願いします。

対外的な活動としてのバリアフリーフェア（9 月 28 日（土）、29 日（日））、毎年 3 月に県民センターで行われる市民活動フェアへ参加します。別途、ご連絡しますが、今後は対外的な活動の拡大により、KECA の活動範囲を広げていきたいと考えておりますのでご協力の程宜しくお願いします。

(3) 会員同志の情報交換・仲間づくりの場として、皆が集える事務所を目指します。

KECA の事務所は横浜ワールドポーターズ 6 階の NPO スクエアにあります。5 月から NPO スクエア内の新しい場所へ移転しました。面積は多少狭くなりましたが、使いやすい四角いスペースになり、これまでより若干明るくなって窓外の景色(?)を楽しめます。是非、来所してください。

また KECA 事務所の移転に伴い、共用の会議スペースが 2 倍になりました。会合等も行いやすくなりましたので事務局会議スペースをご活用ください。

事務局体制

事務局長：河野健三
総務担当：水野房夫
（兼会員担当）
企画担当：原 洋夫
杉浦弘祐
福田昭三
法務担当：高山 進
会計担当：杉浦 勲
森田 守

理事会開催

日時：8月2日（金）、10月4日（金）
12月6日*1（金）、2月7日（金）
3月7日*2（金）4月4日（金）
会場：横浜市民活動支援センター 18 時～
*1は横三支部、*2は横浜支部が担当、
会場、時間は後日連絡

【発行】 特定非営利活動法人 かながわ環境カウンセラー協議会（KECA）

理事長：木村 信幸、事務局長：河野 健三 ・（編集）高橋 弘二

□ 住所：〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1

横浜ワールドポーターズ 6 階 NPO スクエア内

□ 電話：045-226-5822 FAX：045-226-5825 □ E-メール：37keca@kke.biglobe.ne.jp

□ URL：<http://www1a.biglobe.ne.jp/hama37keca/>

【年会費等振込先】 ゆうちょ銀行 口座番号 00260-9-24711